

2014年度 理学部 化学科専攻科目教育課程表 (2009年度入学者に適用)

			1年						2年						3年						4年						卒業要件 単位数	
			前期(1セメスター)			後期(2セメスター)			前期(3セメスター)			後期(4セメスター)			前期(5セメスター)			後期(6セメスター)			前期(7セメスター)			後期(8セメスター)				
			授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者		授業科目
A 群	主要科目	基礎化学演習	2	1 西本	基礎化学演習	2	加部 平田	基礎物理化学	2	天野 菅原	化学表現	2	川本 野宮	物質科学実験	3	13 14	物質科学実験	3	13 14	卒業研究 輪講	4 1	専任全員	卒業研究 輪講	4 1	専任全員	42		
		基礎無機・分析化学	2	堀				基礎化学実験	3	7 木原				物質科学実験	3	14												
		基礎有機化学	2	加部 山口(和)				化学表現	2	平田 松原				化学研究法	2	専任全員												
		理学基礎(化学)	1	2				基礎物理化学	2	菅原 松原				化学研究法	2	専任全員												
B 群	化学系科目				分析化学 (古典分析)	2	杉谷	無機化学 (典型元素化学)	2	川本	物理化学 (量子化学)	2	松原	物理化学 (熱力学)	2	平田	物理化学 (反応論)	2	平田	化学特論	2	洪川				30		
					無機化学 (物理無機化学)	2	森	有機化学	2	上村	分析化学 (機器分析入門)	2	西本	分析化学 (機器分析)	2	天野	有機合成法	2	渡邊	化学特論	2	木原						
					有機化学	2	木原	分子構造決定法	2	木原	無機化学 (遷移元素化学)	2	野宮	無機化学 (生物無機化学)	2	野宮	無機化学 (有機金属化学)	2	川本 堀	知的所有権法	2	吉井	機器分析演習	2	18			
								有機化学	2	松本	高分子合成法	2	山口(和)	化学工業概論	2	15												
							分子構造決定法	2	山口(和)	材料科学	2	大石	応用環境化学	2	16													
							計算機化学	2	天野	有機化学	2	松本	化学史	2	和田													
							分子構造論	2	天野	環境分析化学	2	西本	高分子物性論	2	藤谷													
							工業化学概論	2	(休講)																			
専攻科目	C 群	関連科目	〔解析 A群〕 解析	2	土井	〔解析 A群〕 解析	2	紀	応用数学	2	山口(豪)	応用数学	2	山口(豪)	機能性材料学	2	齋藤(和)	生物科学実験	3	17							31	

1 力石 渡邊 松永

2 川本 野宮 岩瀬 杉山

3 堀口 大川

4 粕谷 菅沼

5 井上(満) 長

6 小笠原 加部 川本 木原 中田 西本 平田 知久 本田

7 川本 木原 西本 山口(和) 力石 渡邊 松永

8 小笠原 渡辺(毅) 齊藤(光) 梨本 畑中

9 泉 安達 久保田 若山

10 渡辺(毅) 梨本 畑中

11 小笠原 安部 久保田 若山

12 水野 粕谷 星野 本田 朝日 岩佐 小林(敏) 齋藤(和) 齋藤(保)

13 天野 菅原 平田 堀 松原 松永

14 上村 加部 野宮 力石 渡邊

15 野宮 足立 今井 大石 海原 武内 深谷 室井

16 西本 及川 小棹 津越

17 井上(和) 小笠原 鈴木(季) 安達 安部 市川 河合 北島 永島 横山

18 天野 加部 木原 鈴木(季) 西本 松原 中西

2014年度 理学部 化学科専攻科目教育課程表 (2009年度入学者に適用)

〔再履修科目 担当者〕

(後)基礎無機・分析化学〔堀〕 (後)基礎有機化学〔加部〕 (前)基礎物理化学〔松原〕 (後)基礎物理化学〔谷本〕 (後)基礎化学実験〔川本 木原 西本 山口(和) 力石 渡邊 松永〕 (後)情報〔後〕 (後)解析〔長〕 (後)線形代数〔土井〕
(後)物理学入門〔水野 菅沼〕 (後)理学基礎(化学)〔野宮 岩瀬〕 (後)生物学概論〔泉 安達 久保田 若山〕

〔備考〕

×印は、どちらか一方のみ履修できる科目を示す。 印は、配当期変更科目を示す。

〔履修要件〕

- 1 同一科目は重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の科目を履修することはできない。
- 3 他学部他学科が受講を認めない授業科目は履修できない。
- 4 「科学技術英語」は、外国語科目「上級英語」、「中級英語」、「初級英語」、「基礎英語」から2単位、「上級英語」、「中級英語」、「初級英語」、「基礎英語」から2単位の組み合わせで4単位を修得した者のみ履修できる。
ただし、未修得者であっても、工業英語検定3級以上及び実用英語技能検定2級以上に合格している者は、履修することができる。
- 5 「数学演習」は、「解析」、「線形代数」の履修者が履修できる。「数学演習」は、「解析」、「線形代数」の履修者が履修できる。
- 6 (解析A群)と(解析B群)の両方にまたがって単位修得した者については、(解析A群)科目の単位のみを卒業要件単位として認める。
- 7 (線形代数A群)と(線形代数B群)の両方にまたがって単位修得した者については、(線形代数A群)科目の単位のみを卒業要件単位として認める。

〔卒業研究 ・ 履修資格〕

- 1 3年以上在学し、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち106単位以上を修得した者
(1) FYS(First Year Seminar)2単位、外国語科目4単位を含む基礎科目から25単位以上
(2) 卒業研究 ・ 輪講 ・ 及び化学表現 を除く主要科目全ての科目

〔学外単位認定制度〕

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の単位とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。
- (1) 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - (2) 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - (3) 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔化学科卒業要件〕

授業科目 入学年度 2009年度 入学	基礎科目				専攻科目			合計
	F Y S	外国語科目	教養系科目	キャリア形成科目	A群	B群	C群	
					主要科目	化学系科目	関連科目	
	2	4	19		42	30	31	128
	25							

- 1 4年以上在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 基礎科目から25単位以上修得すること。25単位を超えた単位は、8単位までC群の関連科目に算入することができる。
- 3 キャリア形成科目は、3単位まで卒業要件単位に算入することができる。
- 4 主要科目から42単位修得すること。
- 5 専攻科目B群から30単位以上修得すること。30単位を超えた単位は全てC群の関連科目に算入することができる。
- 6 関連科目から31単位以上修得すること。
- 7 総合理学プログラムから化学科に分類された学生は、総合理学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を化学科の専攻科目に置き換えることができる。
- 8 他学部他学科の科目及び理学部他学科の専攻科目を履修した場合、16単位まで関連科目に算入することができる。
- 9 教職課程登録者で教職に関する科目のうち、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」、「教科教育法 (理科)」の10単位に限り、上記8と併せて関連科目16単位の中に算入することができる。